

季刊 青葉の森から

春

2010年4月10日発行

みんなのギャラリー

みなさんからの作品をお待ちしています。



「もうすぐお彼岸 削り花を作ってみよう」イベントより

参加者のみなさんの作品

待ちわびた春が来て、森の生き物たちがいっせいに動き始めました。土から顔を出し可憐な花を咲かせるものや、枝先の冬物のコートを脱いでおだやかな光を浴びているもの、草木それぞれの目覚めです。それらに目を近づけてみるとクモやハエなどの虫がいることもあります。また、頭の上では野鳥たちのさえずりがひびきます。にぎやかになった森は、さながら春を祝うお祭でもしているかのようです。

そんな森で日なたぼっこしながら、おやつを食べてお祭り見物などいかがでしょう。野鳥たちの歌に耳を傾けたり、足元の可憐な花々を見初めたりして。

あまったおやつは管理センターでお引き受けします(^_^)



青葉の森瓦版



まだまだ寒い1月にマンサク開花
春を告げるマンサクの花。「まず咲く」が名の由来とも言われますが、大寒に近い1月11日に管理センター入口と森の花園で咲き始めるなんて、本当に早いですね。2月下旬には森のあちこちで満開となりました。

セリバオウレン・カタクリは3月開花
マンサクが咲くのが早く、雪がつもることも少なかったので、早春の花たちも同じように早いかと思いましたが、セリバオウレンは3月5日に確認しました。カタクリは三居沢入口で3月22日、前年とほぼ同じでした。

春を告げる野鳥たちの歌声

ヤマガラが伸びやかにさえずりを始めたのは1月31日。ウグイスの初音の確認は3月6日でした。その年初めてのホーホケキョは、初音という呼び方をします。昔は法華経と鳴くウグイスは特別だったようです。

2月、マツくい虫防除作業

マツくい虫の防除作業で伐採が行われました。いくら切っても終息しないマツ枯れですが、切らなければもっと大きく被害が出るのでしょうか。ちなみに、この作業、枯れたマツを切るのではなく、虫がいる生きたマツを切ります。

インターネットにパンフと壁紙掲載

(財)仙台市公園緑地協会のホームページに、青葉の森のパンフレットとパソコン用の壁紙が掲載されています。ぜひ、ご利用ください
(財)仙台市公園緑地協会
<http://sendai-green-association.jp/>

「春はあけぼの」の写真を展示

あけぼのの空の写真を展示しました。あけぼのは、あけぼの色のことで、お日様が昇ってくる前のピンクがかかった明け方の空の色です。東雲色(しのめいろ)ともいいます。これからも写真を追加していきます。

散策路の橋を補修しました

冬の間、花木広場から化石の森に続く道の3本と、チゴユリの道の1本の橋をかけ替えました。これからも、歩きやすい散策路を目指します。



「みやぎの自然体験ガイド」が刊行されました

NPO 森林インストラクター協会さんが県内の自然体験施設、NPO、および市民グループの活動をまとめたガイドブックを作成され、青葉の森も掲載していただきました。管理センターの本棚にありますので、お出かけの予定を立てる際や、地域の市民活動についての参考にお役立てください。また、半澤レンジャーは監修を担当し、立花はテキストについて一部お手伝いをしました。



この花が咲くと春を実感

2010/3/28
イベント

セリバオウレンのお花畑に出かけよう

お彼岸を過ぎて、春を告げる林床のお花たちが咲き始めました。今日はそのひとつ、セリバオウレンの群生地を見に行く企画です。しかし、前日から空気が入れ替わり、春はどこ行ったと言いたくなるような寒い朝でした。この時期こんなに寒くなるのは、北国とあきらめるしかないのでしょうか。

はじめは、カタクリの道を通ります。カタクリは三居沢入口近くで開花しているところがありますが、青葉の森全体としては、あともう少しです(3/28時点)。なので、つぼみのカタクリを探しながら歩きました。



さて問題です。「つぼみを持ったカタクリと持っていないのとでは、葉っぱはどのように違うでしょうか。」

つぼみを持っている方がより大きい
つぼみを持っている方が枚数が多い
つぼみを持っている方が色が濃い
違う

正解は・・・

森を歩いてお確かめください (;) ガーン

続いて、ショウジョウバカマが一面に広がる斜面を通りますが、こちらにも開花にはあと少しです。少しだけ、ピンクのつぼみが顔を覗かせています。

そして、いよいよ、セリバオウレンのお花畑に到着です。小さな白い花はちょうど満開を迎え、あたり一面夜空の星屑をちりばめたかのような様子。一同驚きと感動の声がこぼれます (ﾟ´´) 材材材材-

鑑賞と撮影タイムのあとは、またしても問題、第2問です。「セリバオウレンのお花はどんな香りがするでしょうか。」

スッキリ爽やか柑橘系の香り
ほんのりとカレーライスの香り
魚をさばいたまな板の香り
におわない

正解は・・・

・・・やっぱり、実際に嗅いでお確かめください
<("0")>なんてこった!!



寒空の下でしたが、満開のセリバオウレンに出会えて、楽しい時間を過ごすことができました。これから青葉の森はベストシーズンを迎えます。みなさん遊びにいらしてください。



投稿・お便り大募集



リストラ(編集部員)

青葉の森を歩いたご感想や身近な自然についての情報、また今号へのご意見・ご感想など、編集部までどしどし送ってください!お待ちしております。

お送りいただいた方には、青葉の森にちなんだ何か(企画中)をプレゼント!

あて先: 〒980 0845 仙台市青葉区荒巻字青葉 260 青葉の森管理センター「青葉の森から」編集部
E-mail: qq4385w9k@utopia.ocn.ne.jp

たまには青葉の森を飛び出して

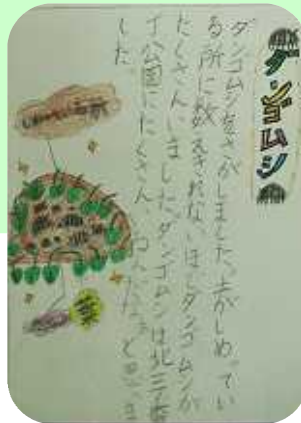


北三自然探検

昨年度、青葉の森管理センターでは仙台市立木町通小学校の3年生の理科の授業を依頼されました。学校に隣接する北三番町公園をフィールドにして身近な自然について学ぶ、「北三自然探検」の時間です。6月から1月にかけて5回の授業を行い、3月にまとめの発表会をしました。今回は、そのときの生徒たちの発表を紹介しながら、活動を振り返りたいと思います。

だんとつの人気者ダンゴムシ

第1回目は6月でした。緊張の初対面は、生徒たちのパワーに圧倒されすっきり押し込まれながらの2時間でした。ダンゴムシが大人気なので迷路実験をやってみましたが、グループにひとつしか迷路を用意しなかったため、迷路の上にはおびただしい数のダンゴムシが入れられ、どれがどれだかさっぱり…orz
他にもキロテントウがいたり、葉っぱが糸で伸びたり、公園にはいろいろと楽しいことがありました。



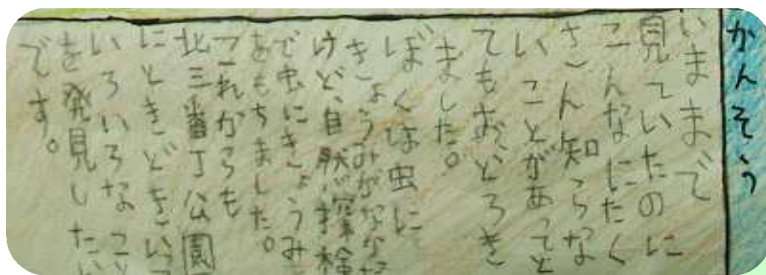
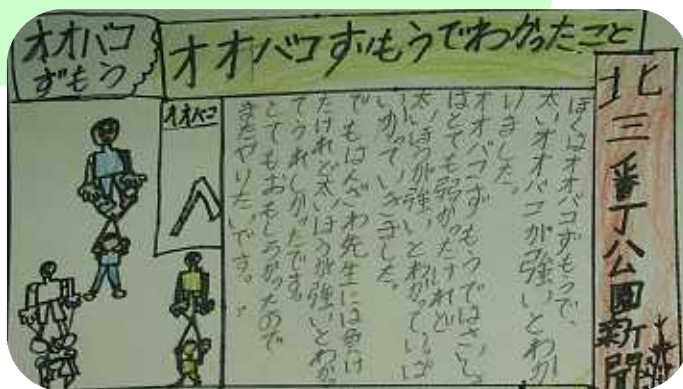
公園のパンフレットができました

月ごとに、発見したことをひみつとしてまとめてくれました。ひみつがたくさん載っていて楽しそう。とっても出かけたくなるパンフレットだなあ。青葉の森でも見習わなくちゃですね。

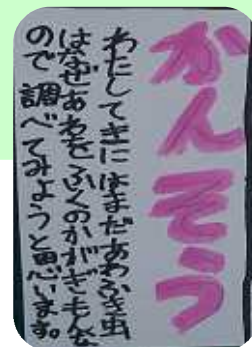
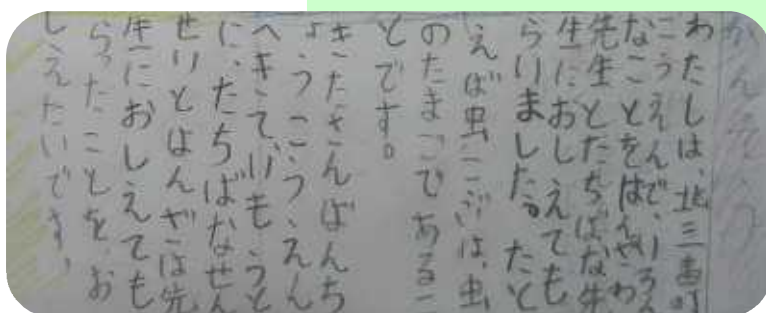


植物で遊びまくり、でもちゃんと学ぶ

虫が減る冬を中心に公園のさまざまな植物にも親しみました。遊びがあると生徒たちは夢中になります。遊びの中で新たな発見がたくさんありました。ナスチウムは驚きの撥水能力。ヒマラヤスギの花はいい臭いだし、中にも花の模様。オオバコずもうで強いものは、地面に生えてるときにもきつと強い固体なのでしょうね。



感じ方の数だけ、みんなと授業ができて良かったと思います。



生徒のみんな授業おつかれさまでした。みんなのおかげで、とっても素晴らしい授業になったと感謝しています。授業は終わったけれど、これからも仲良くしましょう。いつでも青葉の森にも遊びに来てください。

🌸 これからのイベントのお知らせ 🌸



ちいさなナチュラリストがガイドする 「青葉の森ってどんなところ!？」

5月5日(祝) 午前10時~11時30分
幼児から小学生のナチュラリストたちが森をご案内します。
集合場所 / 青葉の森緑地管理センター前
定員 / 50人(申込先着順)
持ち物 / 観察用具、雨具。歩きやすい服装で。
申し込み / 4月6日(火)午前9時から電話(263-2101)で



森でクラフト かんたんに描けちゃう「絵!てがみ?」

5月16日(日) 午前10時~午後3時
小枝や葉っぱの先などで描いて絵てがみをつくりま
集合場所 / 青葉の森緑地管理センター前
定員 / 20人(申込先着順)
持ち物 / 雨具。歩きやすい服装で。
申し込み / 5月7日(金)午前9時から電話(263-2101)で



ちいさなナチュラリストがガイドする きのこ?木の子?キノコの不思議?



7月11日(日) 午前10時~11時30分
小学生のキノコはかせがご案内します。
集合場所 / 青葉の森緑地管理センター前
定員 / 20人(申込先着順)
持ち物 / 観察用具、雨具。歩きやすい服装で。
申し込み / 7月6日(火)午前9時から電話(263-2101)で



♪親子でワクワク「森とあそぼう!!」♪

毎月第2土曜日(5/8、6/12、7/10)
午前10時~11時30分 集合場所: 青葉の森 管理センター
対象 / 小学生以下の子供と保護者10組〔先着〕
親子で自然に親しみます。詳しくは市政だよりをご覧ください。

団体利用のご案内



お友達同士で、サークルや地域のイベントで、四季折々の自然を感じながら青葉の森を散策しませんか。青葉の森のレンジャーが森をご案内いたします(最大40名様まで)。参加される方の年齢および趣向等に応じた散策コースやガイドプランを提案させていただきます。また、学校の環境教育、野外活動に関する授業のお手伝いもいたします。お気軽にご相談ください。



?これって…なんだべ?

—森で見つけたヘン?!なもの—



春の野原に出かけてみると、地面のところどころに小さな土の山ができてることがあります。この土の山はモグラがつくったので“モグラ塚”といわれています。モグラはどうして、土の山なんかつくるのでしょうか。



ミミズや昆虫などを食べて過ごしています。

モグラは皆さんもよくご存知のように、地面の下でトンネルを掘って暮らしている動物です。トンネルの中を行ったり来たりしながら、土の中にいる

暖かい時期のモグラはミミズや昆虫たちの活動に合わせて、地表に近いところで生活します。そのときにつくるトンネルは、土を上を押し上げながら掘り進みます。ところが寒い季節になると、ミミズや昆虫たちは温かな地中深くもぐってしまいます。当然、モグラも食べものを手に入れるために、地中の深いところまでもぐるようになります。深いトンネルを掘るときには土を押し上げられないので、それを地表まで運び出して捨てます。そうしてできたのが、モグラ塚なのです。

ところで、モグラがトンネルを掘るスピードってどのくらいだと思いますか？実は、1分間に30cmくらいは掘り進むそうなのです。休み休みでも3～5時間で60～90mくらい掘り進むのだそうです。そんなものすごい速さで掘り進むわけですから、モグラ塚がある地面の下は、トンネルが網の目のようにはりめぐらされたモグラワールドになっているわけです。

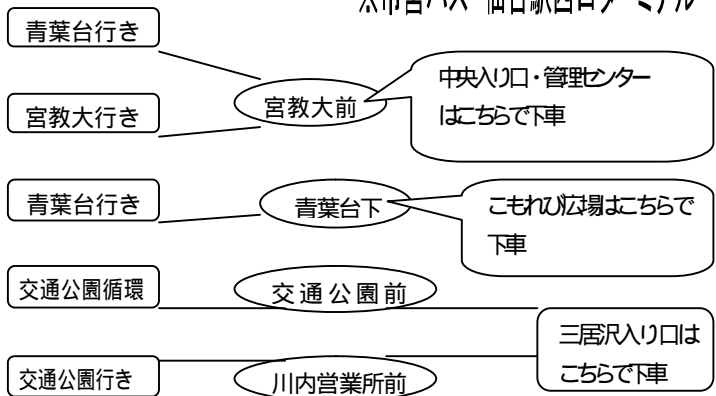
「モグラは畑の作物を荒らす困ったヤツ！」なんて言われることもあるようですが、モグラは肉食性で野菜などは食べません。それどころか、作物の根っこや葉などを食べるコガネムシやヨトウガの幼虫などを退治してくれる、心強い味方なのです。



野原でできたてのモグラ塚を見つけたとき、あたりを見まわしながら少しの間静かにして待っていると、せっせと地上に土を運び出すモグラの仕事が見られるかもしれませんよ。(半)

青葉の森緑地への交通の便

※市営バス 仙台駅西口ターミナル



休館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日）年末年始（12月28日～1月4日）

開館時間：9：00～16：30

発行：(財) 仙台市公園緑地協会 企画・編集：仙台市青葉の森緑地 管理センター

〒980 0845 仙台市青葉区荒巻字青葉 260 Tel:022 263 2101 Fax:022 263 2102

http://www.sendai-park.or.jp/web/guide/info_aoba.html（お知らせをクリックするとイベント情報がご覧になれます）